既婚男女（2013年/全国）「夫の家事参加・育児参加に関するアンケート」

調査期間　：2013/09/05～09/11
調査方法　：リビングweb/リビングパートナー/産経新聞iPhone 版・Android 版でWEBアンケート
集計数　　：既婚男性227人、既婚女性351人

既婚女性	夫は家事に参加している	55.2%
既婚男性	自分（夫）は家事に参加している	70.4%
既婚女性	夫の家事に満足している	60.6%
既婚男性	自分（夫）の家事に満足している	75.7%

妻の悩みや不満 『言われなくても気づいて』
・手伝ってくれた後に探し物をしなければならない。結果時間の無駄に（妻45 歳）
・（夫は）汚れていても気にならない。“気づいた人がやればいい”といいながら気づかない・しない（妻27 歳）
・気付いて手伝ってほしい（妻65 歳）
・食器洗いをしてくれるが水が出しっぱなし（妻29 歳）
・何でもよくしてくれるが、仕上がりが雑なところが少し不満（妻34 歳）
夫の悩みや不満 『やり方が違うと言われる』
・できないことが多い、どうすればいいのか分からない（夫44 歳）
・手伝おうとしても手を出さないように言われる（夫36 歳）
・ 積極的に家事をしているが、雑なところがマイナスかな（夫34 歳）
・洗濯物のたたみ方が妻と違うみたいで…（夫56 歳）

10 月19 日（土）の「イクメンの日」を前に男女それぞれに「夫の家事参加・育児参加」に関する調査を実施した。

■ 夫は家事に参加しているか？に7 割の夫が「はい」

「夫（自分）は家事に参加している」と答えた夫は70.4%。妻の回答では夫が家事をする人は55.2%で、その差は15%。さらに家事参加への満足度を聞くと、60.6%と半数以上の妻が夫の参加に満足している。ちなみに、男性の自分の家事参加への満足度はさらに高く75.7%という結果に。ただし実際に声を聞くと、お互いに言いたいことがあるよう。特に、「私が忙しいときには、夫が自分で気づいて動いてほしい」「やり方が違うので困る」という妻が目立った。一方夫側にも、妻と同じようにはできないことで怒られたり、手を出さないでと言われたという悩みがあった。

■ 言わなくても自主的に担当してほしいのは自動車や風呂の掃除

妻が夫に「言われなくても自分からしてほしい」家事１位は“掃除”だった。自動車・自転車の掃除や、風呂、庭などは、“言われてする手伝い”ではなく、自分で気づいて掃除する“担当者”になってほしいと考えている。ゴミ出し・風呂掃除は「やってもいい」と思う夫が多い家事。ただし風呂掃除は「やりたくない」家事でも3 位。お風呂を自ら進んで掃除できるようになると、家事メンとしてポイントアップ！！
一方、多くの夫が「やりたくない」と考えている「食品などの買い物」「洗濯物を取り込む」。一見簡単そうだが、献立や予算に合った商品選びや、たたむことを考えた取り込み方など、意外に主婦の眼鏡にかなうのが難しく、ダメ出しをされやすい。妻側が、買い物のノウハウや注意点を丁寧に伝えることで、夫の積極的な参加を促すことができるかもしれない。

■妻が言わなくても夫に自分からしてほしい家事は？	
1位	自動車・自転車の掃除・整備
2位	風呂の掃除
3位	庭などの掃除

■夫が「これはやってもいいな」と思う家事は？	
1位	ゴミ出し
2位	風呂の掃除
3位	食器洗い

■夫が「これはやりたくないかも」と思う家事は？	
1位	食品などの買い物
2位	洗濯物を取り込む
3位	風呂の掃除

Copyright© 2014 LIVING KurashiHOW Institute All rights reserved.

既婚男女（2013年/全国）
「夫の家事参加・育児参加に関するアンケート」

調査期間　：2013/09/05～09/11
調査方法　：リビングweb/リビングパートナー/産経新聞iPhone 版・Android 版でWEBアンケート
集計数　　：既婚男性227人、既婚女性351人

既婚女性（20～40代）	夫の育児に満足している	65.6%
既婚男性（20～40代）	自分（夫）の育児に満足している	75.3%
既婚女性（20～40代）	夫の育児は100点満点中	66.8点（平均）
既婚男性（20～40代）	自分の育児は100点満点中	67.4点（平均）

妻の悩みや不満『気が向いたときだけ』
・仕事が忙しいので仕方ないが、精神的にきつい時にそばにいてほしい（妻38 歳）
・気が向いた時だけ手を出してくるから邪魔になる（妻37 歳）
・私のやり方に口を出さないが、つまりは任せきりで関心がないということ。何かあると一人で悩む（妻48 歳）
・携帯片手に子供の相手をしている。休日に友達に誘われれば友達を優先する（妻30 歳）
・何もせず口ではいろいろ言うくせに、何かあると私のせいにする（妻38 歳）
・育児は一人でするものでもなければ、その方向性を一人で決めるものでもない。手伝ってくれないことよりも、相談に乗ってくれなかったり、意見を聞きたくても“任せる”の一言で終わられることの方が辛い（妻35 歳）

夫の悩みや不満『なかなか時間が取れない』
・自分は完璧にやっていると思っているが、妻に言わせると甘いだけで全く怒らない父親はダメだと言われる（夫48 歳）
・男性の育休が取りにくい環境を、なんとかしてほしい（夫35 歳）
・同級生の保護者たちとの関わりが苦手で、参加に遠慮がちになる（夫40 歳）
・ついつい自分の価値観で接してしまう（夫44 歳）
・いつまで一緒に遊んでくれるかな…（夫40 歳）
・本当はもっと子供と関わりたいが、仕事が忙しく、特に平日は子供と接する時間がなかなか取れないので、もう少し関われる時間を増やせたら（夫34 歳）
・現役時代、多忙過ぎて、参加できなかった（夫65 歳）

■約8 割のパパが育児に参加。うち75.3%が自分の育児に満足

20 ～ 40 代の子どもを持つ男性の約8 割が「育児に参加している」と回答。イマドキのパパはまさに“イクメン”だ。この状況に、妻の65.6%、夫の75.3%が満足。さらに、夫の育児参加を採点してもらったところ、夫は100 点満点中67.4 点、妻は66.8 点とほとんど点差はなかった。妻からは、「休日は子供と出かけたり、私に1人の時間をくれる」「周囲からは“かなりイクメンだね”と言われます。しかし本人には自覚がないよう。“してやっている感”が全くないことがありがたいです」など、夫への感謝の声があった。しかし、家事と同様、フリーアンサーでは悩みや不満がいろいろあるようで・・・。

■夫に「言わなくてもしてほしい」おむつ替えは、夫が「やりたくないこと」1 位

夫が「やってもいいな」と思う第1 位「子供と遊ぶ」は、妻にとっては「言わなくても自分からしてほしいこと」の第3 位。「風呂に入れる」はともに2 位。この2 つは夫がもっと積極的になることで、お互いの満足度が高まるはず。一方で、妻が「自分からやってほしい」と望んでいて、夫がやりたくないことの第1 位は「おむつ替え（トイレの世話）」。これを自分からスッとできる人はイクメン上級者といえるかもしれない。

■妻が言わなくても夫に自分からしてほしいことは？	
1位	おむつ替え（トイレの世話）
2位	風呂に入れる
3位	子供と遊ぶ

■夫が「これはやってもいいな」と思うことは？	
1位	子供と遊ぶ
2位	風呂に入れる
3位	あやす・寝かしつける

■夫が「これはやりたくないかも」と思うことは？	
1位	おむつ替え（トイレの世話）
2位	着替えを手伝う
3位	食事を作り、与える

Copyright© 2014 LIVING KurashiHOW Institute All rights reserved.